



ギャラリーヴィン通信

2024年 9月号

社会福祉法人タンポポのはら

〒061-3218 石狩市花畔 342-9 TEL:0133-64-0300 FAX:0133-64-0313



生活介護事業では、現在17名の利用者さんにご利用いただいています。全員が強度行動障害に該当する方々です。様々な特性を持ち、生きにくさを感じているであろう利用者さん一人一人が少しでも楽しく、心地よい時間を過ごして頂けるよう努めています。原因が特定できずに不安定になったり、自傷行為が増えて良くない状態になる等、利用者さんの状態は日々変化します。一人一人の特性、好き嫌い、得手不得手等を考慮し活動提供することを心がけなくてはなりません。職員は研修を受けたり、勉強会に参加して障害特性、対応について勉強していますが支援について行き詰まりを感じることは多々あります。

日々の支援で悩み事がある時や、他のスタッフが悩んでいそうな時には声をかけ合うことが大切です。一人で悩んだり、苦しんでいる間に虐待に繋がるような不適切な支援をしてしまうかもしれません。みんなで話し合いをして対応を検討するのが一番の解決の近道だと思います。話し合い、取り組みをした結果、利用者さんの状態が良い方向へ向かいほっとすることもありますが、なかなか上手くいかないことが多いのが現実です。また、一つクリアできても次に違う困難が出てきて、再び頭を悩ますことの連続ですが、それが私たちの役割だと考えます。

年に3回虐待防止研修が行われています。テーマに沿って勉強会を行い、日々自分たちの支援、対応が「虐待の小さな芽」になっていないかと考え、日々の支援を振り返ります。「あの時の言葉かけが乱暴だったかもしれない」「必要な介助をしようとしたのに唾をかけられて腹が立った」等実際に起きた出来事を話し合い、みんなで共感したり、意見交換、今後の対応策を考え次の支援に繋がります。虐待の芽は小さな内に摘み取ることが肝心だからです。

また、「虐待防止・拘束検討委員会」が年に4回開催されます。委員は管理者、生活支援員、看護師、保護者等で構成されています。就労と生活介護の両方で行われている虐待研修の報告、委員会から見た事業所全体の状況、事業所としての虐待防止策等が話し合われ、その内容は職員全員に周知されます。これからも利用者さんに直接関わる支援員だけでなく、事業所職員全員が「虐待防止の意識」を持つよう努めていきます。

(真野)



生活介護事業

土曜イベント特集

昨年度に引き続き、土曜イベントでランチ会を定期的を開催しております。

第1弾 パスタ

5月18日、パスタランチ会を行っています。昼食は、ミートソースパスタを作り、皆さんおかわりしてたくさん食べていました。昼食後のレクリエーションでは、人気のカラオケを行い、ゆっくりとした時間の中、いっぱい歌ったり踊ったりと楽しい時間を過ごしています。



第2弾 焼きそば

6月15日、焼きそばランチ会でした。午前中は、石狩市の防災公園へ行き、公園散策をしました。とても天気が良く、初夏を感じる絶好の散策日和でとても気持ち良かったです。昼食の焼きそば、デザートには桃の缶詰シロップゼリーで作ったパフェを頂きました。



第3弾 焼肉

7月13日、焼肉をしています。この日も良い天気で、外で炭を起こしてジンギスカン、焼うどん、畑で採れたスッキーニなどの野菜を焼いて頂きました。お肉は人気がありますが、野菜も美味しく皆さんおかわりして食べていました。気温が高い日だったので、デザートのアイスが最高でした。



第4弾 焼き肉

8月3日、そうめんランチ会を行いました。そうめんの他に、鶏の唐揚げ、畑で取れた野菜をたくさん使ったサラダ、デザートにはアイスのをせたかき氷を作って食べています。気温の高い一日だったので、そうめん、アイス、かき氷がさらに美味しくなったことでしょう。



～畑作業の近況報告～

今年、畑周辺にネットを設置しました。春先にあったハマボウフウの盗難被害やシカやキツネなどの動物の侵入もなくなり、野菜も順調に育っております。ズッキーニやミニトマト、きゅうりなどの夏野菜が取れ始めており、こちらも順調です。最近では、枝豆や長ネギを収穫しました。秋に向けて、じゃがいもやかぼちゃなどの収穫がこれから楽しみでなりません。



畑のネット



様々な夏野菜



枝豆と長ネギ



じゃがいも畑とかぼちゃ畑

委託作業

株式会社ノーススマート様から委託を受けて作業を行っています。最近では、ハンディーファンを袋に入れる作業やクリップを商品に付けたり、袋に入れて出荷する作業を行っています。毎日のように資材が来るので、みんなで協力しながら作業しています。



お楽しみ DAY

お楽しみ DAY にて毎月調理を行っています。5月こいのぼりのオムレット、6月マーラカオ、7月フルーツどらやきを作りました。こいのぼりオムレットは、ホットケーキミックスの生地を焼いたものに、生クリームを挟み込んで、マーブルチョコやみかんなどを使って、可愛らしいこいのぼりの形に仕上がっています。



5月 こいのぼりのオムレット



6月 マーラカオ



7月 フルーツどらやき

就労継続支援 B 型事業

第12回 はまなすフェスティバル 6/9(日) 場所:石狩浜海浜保護センター



石狩浜で毎年恒例の「はまなすフェスティバル」に出店いたしました。強風の中ではありませんでしたが、他のブースでは、はまなすの花摘みや蒸留実験などの体験もでき、お子様連れのお客様に多くご来店いただきました。

第39回 ふれあい広場 7/13(土) 場所:石狩市総合福祉センターいんくる

コロナ感染拡大の影響で5年ぶりの開催となった「ふれあい広場」に出店いたしました。天候も良くてたくさんの方々に来店いただき、午前中には完売いたしました。お店以外にもステージでのショーや福祉の体験など大勢のお客様で賑わいました。



～作業風景～



パソコンを使って書類作成やデータの入力作業をしています。記入間違いがないように慎重に行っています。



メロンパンのクッキー生地を、丸形のシートを使って、大きさが均一で綺麗な円形になるように伸ばしています。



生地のたたみ作業をしています。空気を抜いて、綺麗に三つ折ります。



出来上がったパンの袋詰めをしています。パンがつぶれない様子を付けながら入れて最後にビニールの帯でとめます。



研修に参加しました！

8月7日、令和6年度札幌市発達障害児者地域生活支援モデル事業研修会による、「自閉症支援の基本的な考え方と教育・医療・福祉との連携について」という研修会に動画配信にて参加しました。

自閉症・強度行動障がいのある方への支援体制を整備し、新たに必要な取り組みの実装化を目指した札幌市のモデル事業の説明、自閉症支援の基本的な考え方や他領域連携、病院の方や高等支援学校の方による他業種との連携における実践発表など、大変勉強になる内容の濃い研修でした。

これから、「中核的人材」と「標準的な支援」がスタンダードになる時代となっていきます。中核的人材を養成することで、強度行動障害基礎・実践研修を受けた方々のフォローアップを行い、業界全体で自閉症・強度行動障害の支援の底上げを目指しています。標準的な支援では、アセスメントと環境調整の2つを軸にした当事者に歩み寄る支援が求められています。時代に取り残されないように、研修などでの定期的な勉強を行い、職員間でも情報を共有しながら、より良い利用者支援を目指していきたいと思っております。(山田)

新しい公用車が来ました！



前々回の会報1月号でお伝えしていた中央競馬馬主福祉財団の助成による新しい公用車が、6月中旬に納車されました。これで所有している公用車6台のうち、5台の公用車が自前の車両となります。これからも事故のないように、安全運転を心がけていきます。

9・10・11月の予定

9月 2日(月) 橋本医師往診
9月 5日(木) ほしみ高等学園外販
9月 9日(月) 健康診断
9月17~20日(火~金) ほしみ高等学園実習生受け入れ
10月 3、4日(木、金) 地下歩行空間 パン販売
10月26日(土) 石狩市図書館まつり パン販売
11月 9日(土) まちフェスいしかり パン販売

ありがとうございます。順不同・敬称略

◆寄付金

○鈴木 幸雄 ○三浦 正

◆寄贈品

○篠崎 蒼 ○三浦 史織 ○斎藤 達也

令和6年5月1日(水)~令和6年8月31日(土)

~皆様へのお願い~

ご家庭で不要になったバスタオル、タオルがありましたらご寄付下さい。毎日の消毒に必要でウエスにします。また、牛乳パックはいつでも大歓迎です。よろしくお願いいたします。

編集後記・・・

暑い日が続き、まさに夏真っ盛りという言葉が似合う季節となりました。事業所では、こまめな水分補給やエアコンをうまく使いながら、脱水症や熱中症に注意し日々過ごしています。

新型コロナウイルスが、5類感染症に移行してから1年以上たちましたが、また変異したコロナウイルスによる感染が拡大されていると聞くことが増えてきました。これから、秋に向かって季節の変わり目になるので、基本的な感染症対策に今一度意識することが大切だと感じております。